

会報 いわて



迎春

本年もよろしく願いいたします



新年のご挨拶



一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会
会長 高橋 一博



会員・賛助会員の皆様、日頃当会の活動に対し多大なるご協力、ご支援を頂きまして誠にありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

地球温暖化の影響と思われる異常な暖冬の中、本年1月1日には能登半島で最大震度7の大地震とこれに伴う津波が発生し、2日には羽田空港で日本航空と海上保安庁の航空機が衝突・爆発・炎上する、4日には北九州で大規模な火災が発生するなど波乱な年始となりました。被災された地域にお住いの方、被害を受けられた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

日臨技では災害対策支援規定（令和3年7月17日制定）により都道府県臨床衛生検査技師会、日本臨床検査振興協議会および日本臨床検査薬卸連合との間に協定締結を行っており、さらに災害時にボランティアとして被災地の避難所で何らかの活動をする会員を支援するために、日臨技と地方自治体、日本医師会災害医療チーム、卸連合との間で災害時応援協定の締結を促進しようとしております。昨年12月23日に第1回目の会議が開かれたところで、岩臨技では災害マニュアルの制定から取り組むことと致しました。

当県は東日本大震災の被災県でもあり、体制の整備を進めておく必要を感じております。非常時の連絡手段としても有効である一斉メールには施設連絡責任者宛ての機能がありますが、メールアドレスが有効では無いものも混在しているようです。電話が通じない災害時の連絡手段の一つとして今後整備を進めたいと考えております。登録にはキャリアメールは使用できません。また、安否確認等の必要性も生じることから、施設代表メールではなく、確実に連絡がつく個人アドレスの登録をお願い致します。

次にですが、令和6年には岩臨技設立70周年、法人化65周年となります。そこで第27回岩手県医学検査学会を令和6年10月19日に岩手県民交流センター（アイーナ）小田島ホールで行い、その際に記念式典を執り行うことを予定しております。会員の皆様には是非お集り頂き、活発なご発言、ご討論、さらには会員同士の交流をされ、有意義な会にしたいと考えております。

結びとなりますが、本年も常任理事、理事、部門長、部門員一同で会務にあたります。いまままで整備されていなかった事も少しずつ進めてより良い会にしたいと考えております。会員並びに賛助会員の皆様におかれましては変わらぬご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



1 月 7 日 岩手県から 6 チームの DMAT 隊が出発！

一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会
会長 高橋 一博

報道等でご承知の会員の方々も多数いらっしゃると思います。

1 月 7 日岩手県から 6 チームの DMAT 隊が被災地に向けて出発し、このうちの一つとして AM6:30 分、当院 DMAT 隊が石川県に向けて出発していきました。このチームには岩臨技会計を担当する佐藤 昂（さとう あきら）君がロジとして参加しています。この原稿を書いている 1 月 8 日、そして 1 月 9 日に石川県で活動し、10 日以降帰還の予定です。

当院では AM6:00 から壮行会が開かれ、応援のために職員が参集しました。出発後の昂君からのコメントです。

「朝早い中壮行会ありがとうございました。石川県立中央病院内の活動拠点本部への参集となり、本部活動、搬送業務、中央病院の業務支援等に割り振られる事になると思います。」
応援のコメントも寄せられました。

「まずは DMAT の活動をもってその後に引き継いで頂きたいと思います。佐藤さん頑張れ。」

「みんなも同じと思いますが、東日本の時を思い出し心が痛みます。被災地への救援活動、本当に有難く思います。被災された方々の苦しみの軽減と安全に救援業務を完遂できるよう願っております。」

岩臨技会員には他にも DMAT として活躍している方がおります。また、ICAT の活動や避難所に対して DVT 検診等で参加される方も今後いらっしゃると思います。皆様のご施設でも可能な範囲で活動に係る不在や帰還後の休暇（代休）取得等に向けて業務調整をお願いしたいと思います。ぜひ皆で応援しましょう。



第 26 回岩手県医学検査学会 成功裏に終わる



一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会
会長 高橋 一博

第 26 回岩手県医学検査学会は多くの皆様にご参加いただき、オンデマンド配信のすべての日程を終了いたしました。

ご参加いただきました皆様、ご協力いただきました関係各位に深くお礼申し上げます。

学会情報

第 73 回 日本医学検査学会 in 金沢



- 【 日 時 】 2024 年 5 月 11 日（土）～12 日（日）
- 【 テ ー マ 】 命を見つめ・未来を拓く One Step ahead 臨床検査
- 【 場 所 】 石川県立音楽堂、金沢市アートホール、ANA クラウンプラザホテル金沢、ホテル日航金沢、ホテル金沢、もてなしドーム地下広場（予定）

研修会情報

令和 5 年度 (第 29 回)
岩臨技精度管理報告会・学術部門合同研修会 (第 2 部)

お知らせ

- 【 内 容 】 精度管理調査報告
学術部門合同研修会(2 部)
- 【 日 時 】 令和 6 年 2 月 10 日 13:00-16:20
- 【 場 所 】 ハイブリット方式(現地会場：リリオ 3F イベントホール)
(オンライン：ZOOM)
- 【 参 加 費 】 会員・賛助会員 無料/非会員 7,000 円
- 【教科・点数】 基礎 20 点

第 75 回
盛岡地区技師会研修会

お知らせ

- 【 内 容 】 移乗について
- 【 日 時 】 令和 6 年 2 月 3 日 14:00-15:30
- 【 場 所 】 岩手県予防医学協会 Big Waffle 1 階会議室
- 【 参 加 費 】 日臨技会員・賛助会員 無料 / 非会員 7,000 円
- 【教科・点数】 基礎 20 点

2023 年度
日臨技北日本支部臨床一般部門研修会

お知らせ

- 【 テ ー マ 】 どうする！？から始めよう！
～症例&精度管理法から学ぶ一般検査の面白さ～
- 【 日 時 】 令和 6 年 2 月 1 日 9:00～2 月 28 日 21:00
- 【 場 所 】 オンデマンド配信(日臨技システムを利用)
- 【 受 講 料 】 1,000 円
- 【教科・点数】 専門教科 20 点

(い わ て)

令和 5 年度

日臨技北日本支部染色体・遺伝子検査部門研修会

お知らせ

- 【 テー マ 】 がん遺伝子パネル検査に求められる知識と役割
- 【 日 時 】 令和 6 年 2 月 17 日 13:00-16:35
- 【 場 所 】 Zoom ウェビナーによる Web 配信
- 【 参 加 費 】 会員 1,000 円、非会員 5,000 円
- 【教科・点数】 専門教科 20 点
認定臨床染色体遺伝子検査士単位 5 点

令和 5 年度

日臨技北日本支部「輸血細胞治療部門研修会」

お知らせ

- 【 内 容 】 ガイドラインに基づく輸血検査の基礎と応用
- 【 日 時 】 令和 6 年 2 月 17 日 13:00-17:00
- 【 場 所 】 WEB ライブ配信 (Zoom ウェビナーを使用)
- 【 受 講 料 】 1,000 円(非会員 2,000 円)
- 【教科・点数】 専門教科 20 点

第 3 回

タスクシフト／シェア実技講習会

お知らせ

**タスク・シフト/シェアに関する
厚生労働大臣指定講習会**

タスク・シフト/シェアは臨床検査技師の手で



- 【 開 催 日 】 2024 年 2 月 18 日 9:30-17:30
- 【 場 所 】 いわて県民情報交流センター(アイーナ)



令和 5 年度移植検査部門実技研修会を終えて

移植検査部門 部門長
千葉 由紀

去る12月9日(土)に何年ぶりかわからないくらい久しぶりの実技研修会を開催いたしました。会場の県立中央病院会議室は定員25名と規定がありましたので、午前を初心者用、午後を中級または認定受験予定者向けとして血液型検査の実習を行いました。県内の認定輸血検査技師が3~4名のグループに一人指導する形式で、亜型(A3B型)の検体やうら検査の反応が弱い検体など実際の検体を用いて実習しました。参加者の皆さんは熱心に実際に手を動かして検査のコツや判定ポイントを確認されており、準備は大変でしたが実技実習の重要性を改めて認識させていただきました。スタッフとして参加していただいた会員の皆様はこの場をお借りして御礼申し上げます。一部ですが参加された会員よりいただきました感想をご紹介します。



- ・初めて実技の研修会に参加しました。認定試験とはどんなものなのか、どんなところを見られるかなども教えていただき大変勉強になりました。試薬添加後の混和が不十分だったので、日常的に気をつけたいなと実感しました。
- ・現地開催の研修会はコミュニケーションもあり、実際に検体で研修できて、より理解できました。
- ・講師の人数も多く、丁寧に指導していただき勉強になりました。
- ・検査手順が勤め先のやり方に染まってしまうがちなのですが、研修会で正しい検査手順を知ることができて良かったです。また、凝集の見方、竹串での混和の仕方など、細かいところまで学ぶことができて良かったです。
- ・実習形式の研修会だったので、手技の不適切なところがわかった。参加して良かった。





“つなぐ”

今回の『つなぐ』は岩手県立宮古病院の伊藤七海さんです



今回、県立二戸病院の原子穂乃花さんから引き継ぎました、県立宮古病院の伊藤七海と申します。穂乃花ちゃんは私と同期入局で、とても優しく、そして面白い方です。夏頃に研修会で会った際に、今度「つなぐ」を書くことになるかもと話を聞いていたので、私にも近いうちに機会が巡ってくるだろうと思っていました！

今回の「つなぐ」のテーマは私の趣味のひとつでもある水族館巡りについて書こうと思います。

その始まりは、小学生のときに訪れた初めての水族館で、海的神秘的な生物に触れたことにあります。透明な水槽の中でゆったりと泳ぐ魚たちや、色とりどりの珊瑚の美しさには心を奪われます。旅行に行く度に、その地域にある水族館を訪れることが習慣となりました。水族館は地域に根ざしたものも多く、かなり勉強になります。実は、大学生時代は近くにあった水族館の年間パスポートを購入して通っていました。水槽の中を泳ぐ様々な生物を眺めているだけで気分転換にもなり、私の大学生活を支えてくれた大切な場所です。

水族館での展示やショーの中で私が一番好きなのはイルカショーです。イルカショーの魅力は、迫力あるパフォーマンスと知的なイルカたちの魅力が一堂に味わえる点です。ショーを通じて人とイルカのコミュニケーションや信じられないような芸術的な動きを見るのがとても好きです。イルカショーに魅了されすぎて、私の将来の夢は中学生まで「イルカの飼育員になる」でした。母に「飼育員になるためには泳げないとなれないよ」と言われ、顔を水につけるのが精一杯だった小学二年生の私が、水泳教室に通うようになったきっかけでもあります。おかげで小学六年生の時、地域の水泳大会で1位を取ることもできました。母の手のひらで転がされたような感じもしますが、良い思い出です。

ここで、最近私が見た中でお気に入りのイルカショーを紹介させてください。それは、アクアパーク品川のイルカショーです。特に夜のショーが私好みで、音・光・映像とイルカたちのパフォーマンスで幻想的な空間を生み出していました。イルカショー以外の展示も綺麗で魅力的だったので、関東に行く機会があれば訪れてみてはいかがでしょうか。

次回は、同じく同期入局で、県立胆沢病院の小田島香さんにつなぎたいと思います！忙しい中引き受けてくださり、ありがとうございます。香ちゃん、よろしくお願いします！



(い わ て)



～編集後記～

発行にあたりお忙しい中、原稿を寄せてくださった皆様ありがとうございました。会員の皆様にとって有益な会報であればと思います。

悲しいニュースが多い年の始まりになってしまいましたが、厳しい状況の中それぞれの立場で冷静に立ち向かっている姿に感服しました。今年の全国学会の開催地は金沢です。参加して盛り上げましょう。

(kuma)



会報「いわて」第 345 号 2024. 1

一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会

発行人：

会 長：高橋 一博

事 務 局：下川 波歩

編集責任者：熊谷 公代

藤倉 由規

〒020-8505 盛岡市内丸 19-1 岩手医大中検内

Tel. (019)613-6111 内線 3699 Fax. (019)654-8510

<http://www.iwateamt.or.jp/>

会報専用メールアドレス：

kaiho@iwateamt.or.jp